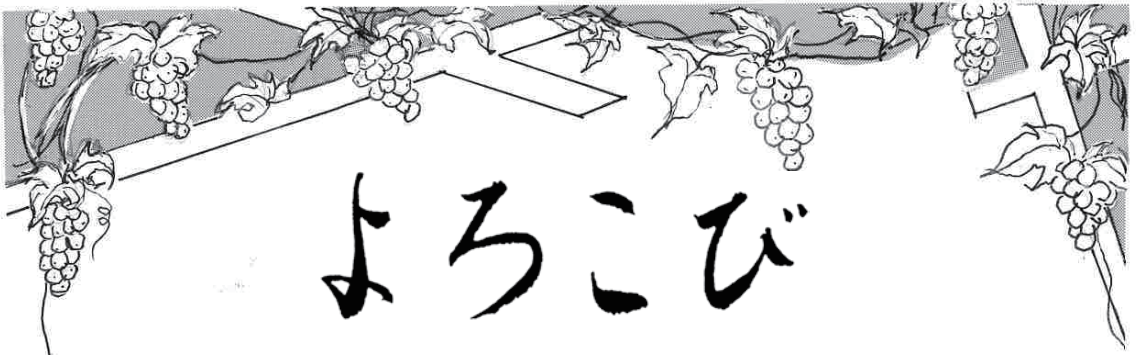




2020.9.20 第 126 号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

本号では、93歳になられた横山義孝先生と86歳の五月女昇一郎先生に、これまでの歩みと近況をお書きいただきました。

祈りとご支援に感謝

横山 義孝

私が洗礼を受けたのは旧制中学4年生の春でした。一九四四年で日本は大東亜戦争の最中でした。アメリカを敵にしていた頃で中学の軍事教官は、お前は牧師の息子かと厳しく問い詰め、そうです、と返事したことを覚えています。毎週牧師(父・横山英男)の説教を聞いて、キリストを信じることは良いことだ、正しいことだと自分で決心して日本基督教団浦和別所教会で洗礼をうけたのです。それでも日本が東南アジアの国々を自らの支配下に置くという侵略戦争であり、罪悪であるということは知らされていなかったのです。その

ため私は戦争に参加することは自分の国を守るのだと単純に考えて、一九四五年春、海軍水雷学校(横須賀)に入ったのですが、同年八月十五日敗戦の詔勅を聞く結果になったのです。日本基督教団はその後戦争責任の告白を内外に公表することになりました。

その年の十二月十日浦和別所教会で、後に現関西聖書神学校の校長になった沢村五郎師の特別集会がありました。その集会で



横山 義孝 先生

感謝です。

同師の「もしイエス・キリストが日本の国の人々に受け入れられていたならば、日本の同胞二〇〇万、東南アジアの同胞二〇〇〇万を犠牲にすることはなかったであろう」とのメッセージを伺い、天皇が人間宣言をして、人生の生きがい失って混乱の内にあった私(当時十九歳)に、このイエス・キリストの栄光のため

に生きたいとの決心が与えられたのです。それを父に話しますと、「祈っていたぞ」と賛意が示されたのです。神戸神学院(のちの関西聖書神学校)を卒業して日本基督教団の教師になり(一九五〇年)四月から浦和別所教会伝道師に就任。同時に埼玉県川口市で開拓伝道を始めたのです。それから隠退までの

六六年間は神の栄光のための開拓、開拓の意義ある生涯をひたすら歩み続けて来ましたが、いま私は妻と二人(共に九三歳)元気を与えられて祈りの日々を過ごしております。妻は十年ほど前お風呂場で転倒し胸椎を損傷してあまり外には出られなくなりまして、長女が近くにおり聖日と木曜の集会毎に車で迎えに来て、東京新生教会の集会に出席させていただき、兄弟姉妹との交わりが与られています。

す。小生は日曜を除く毎朝六時からの早天祈祷会に参加しています。また月の第二聖日には礼拝のメッセージのご用を仰せついております。その状況にありつつ4ヶ月毎には教団年金局より、身に余る終身退職年金をいただいております。

ります。全国の日本基督教団の諸教会、また信徒の方々にこのように隠退教師とその家族を覚えて祈りと財的支えとを与えられておりますことに對してただただ感謝のほかありません。ハレルヤ。

(よこやま よしなり)

教会の修理屋

五月女 昇一郎

隠退して21年、86才になりました。三つの教会を牧会しました。隠退後、非常勤でホスピスのチャプレンを七年間勤めました。私の牧会人生を総括すると、なんだったろうかとある時考えました。それが表題の言葉です。その教会の足りないところを修理して歩いた、ということです。もっとも、そのように三つの教会では建築に携わっていません。カルヴァンはエペソ書講解で神は一人で全部出来るほ

どに賜物を与えない。助け合ってキリストの体を完成させるのだ、と述べています。同じ時に完成することもあれば、歴史的に後から完成に向かうこともあると思います。私は後者の仕方です。役割を担ったと思っています。最初の赴任教会は、愛知県の西尾教会です。宣教師が夫婦を教会内に住まわせていて私は講壇の横の部屋に住み、ノミのふんだらけになりましたが、奇跡的にノミに食われませんでした。正教師になった時、教師籍を持つ役員にス



五月女 昇一郎 先生

トープの炭で汚した足を洗えと突き出されましたが洗いませんでした。それで猛勉強と祈りに専念し、その人に本物の牧師だといわれました。祈りは、説教前にキリストの前に原稿を広げ、このように説教しますとご進講のように祈ったものです。この年に後に赴任することになる名古屋桜山教会の高校生キャラバンの応援がありました。次の教会は富山県の高岡教会です。別棟に牧師館があり百年以上経った建物で、保育園も老朽化し積雪で危ない状態でした。仏教系の保育園長たちに夜中に放り出された県の監査の職員を教会に泊めたことが縁で、保育園に国庫補助をもらい改築しました。ここで感じた問題は教会と社会福祉との関係でした。最後の教会、名古屋桜山教会では、牧師館兼教育館と第

二教育館を建てました。ここでの問題は信仰を感性で受けとめるということです。その点で聖地旅行を9回も行ないました。

隠退後、聖隷ホスピスのチャプレンを七年間非常勤で勤めました。ここでは教会との関係が整ってなく、患者さんが洗礼を受けると現地の教会ではなく、東京の教会に籍を置くという具合だったので、正常化しました。

現在の活動は老人ホームでの聖書研究、讃美歌の会、礼拝説教の奉仕、遠州栄光教会での成人クラスの奉仕などを行なっています。現役時代は事務や会合が多く、最後は説教三昧で終わるのが願いです。(さおとめ しょういちろう)

「隠退教師を支える運動・1000円献金」

主の愛のご計画に参画させていただく喜び

関東教区推進委員 滝川 英子



滝川 英子 さん

初めて出席した教団総会後、教団の2委員会から委員要請があり、戸惑いの内から牧師に相談、祈りの結果「隠退教師を支える運動」の推進委員を受諾いたしましたのが1991年の秋でした。2年後、年金局理事のご奉仕も未熟な40代の私に神様が与えてくださったことは、初体験の連続でした。当時、理事会は2名の牧師と5名の信徒の構成でした。教団年金が、24億円の過去勤務債務を抱え、危機的な状況にあることを教団全体で共有するために29回

総会で時間をいただくことになりましたが、議場は騒然として、秋山理事長の声はかき消されました。この状況に理事会は、構成メンバーを一新することを決議しました。各教区が年金局の実態を共有するため、教区3役の中から理事を選出し、教区常置委員会に於いて理事は、教団年金の重要性和問題を明確に報告する任務を担う。理事は固定化することなく、多くの方が流動的に関わりを持つことにより健全な年金局存続に寄与する。この打開策提案の大鉈を振るいました。年金局は「隠退教師を支える運動」委員会と共に教団年金の正常化を祈り、車の両輪の如く互いを大切に走り出しました。多くの教会・伝道所の皆様に現

状を理解していただくために、各教区に出向き「推進座談会」を開催する時、開会礼拝の説教者に教区議長を指名し、座談会では、年金局理事長の陪席により年金局の実態をデータに上げて説明していただくことを常としました。当時、献金参加教会が少ない東京教区に対し、各支区長と面談し、2名の推進委員を選出していただき、推進座談会を開催続けた結果、東京教区の参加教会と献金額が急増する恵みをいただきました。委員会は隠退教師とのお交わりの中から、先生の多くが首都圏を終の住処として望んでいると知り、1億円を超える建築資金を積み立てていましたが、過去勤務債務に苦悩する年金局の正常化を祈った結果、積立てていた1億500万円を年金局に献金する議案を委員会は決議し実行したのです。1973年に旭川で撒かれた愛の種は78年の教団総会において教団の信徒運動「隠退

教師を支える運動」として誕生いたしました。今や47年を経て教団全体に根差し、豊かな実を実らせ続けています。誰でも参加できる小さな業を、主は愛し祝福し続けてくださることを心から感謝いたします。私達に、福音を語り伝えてくださりキリストの贖いと復活へと導いてくださった隠退教師とご家族の上に主のお守と祝福を祈ります。ハレルヤ！

(たきがわ ひでこ／七里教会)



業 務 室 よ り

一年金を受けている方へ— 年金送付のお知らせ

10月の定例給付のご案内をいたします。

送金内容

①謝恩金受給者

2020年度第3期分給付
(2020年10・11・12月分)

②退職年金受給者

2020年度第2期分給付
(2020年7・8・9月分)

送 金 日 2020年10月9日(金)

期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2020年12月10日(木)

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆ 2020年度「受給者名簿」を同封いたします。正確を期したつもりですが、誤りがありましたらお知らせください。この名簿は受給者の交わりに役立つように作成しているものです。それ以外の目的にはご利用なさいませんよう、扱いにはくれぐれもご注意ください。住所欄の□は、2019年度の現況届で住所等の記載を望まない意思表示された方です。今年度4月以降に受給者となられた方は、原則、そのまま記載させていただきました。名簿の送付が不要と申し出られた方には同封しておりませんので、お入り用

の際にはご連絡ください。

☆ 7月10日の定例給付日には、謝恩金、退職年金、合わせて1億1094万円を734名の受給者にお送りいたしました。

☆ 6月25日～26日に開催予定の第41総会期第4回年金局理事会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け書面開催となり、21名の理事による書面決議が行われました。議決に関しては問題なく処理できましたが、一堂に会して教区の現状、理事の志しなどの共有ができなかったことが残念でした。それぞれの教会や教区の活動にも影響を来している現状下において、諸献金の縮小を懸念して、常任理事会などでの指針の検討を期待する声も寄せられました。

☆ 奥羽教区代表理事の村岡博史先生の教区異動に伴い、後任として鈴木務氏(秋田高陽教会信徒)の就任が教団三役会で承認されました。

☆ 今年の夏は、猛暑とコロナ感染対策が求められました。感染者数や熱中症による救急搬送の数が連日メディアで伝えられ、未だ終息が見えてこない状況です。さらに、各地を襲った豪雨被害に遭われた方もいらっしゃるかと案じております。お一人お一人にご様子を伺うことができず、申し訳ございませんでした。みなさまの上に主の平安がありますように、そして何よりも健康が支えられますようにと、心からお祈りいたします。

(村山めぐみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局 「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
年金局 Tel: 03(3202)2080
Fax: 03(3202)2081
mail: nenkin@clock.ocn.ne.jp

支える運動 Tel: 03(3202)2081(Fax 兼用)
mail: sasae@flute.ocn.ne.jp